

VP1656

ディスプレイ ユーザーガイド



ViewSonic® をお選びいただき、 ありがとうございます

ViewSonic® は、ビジュアルソリューションの世界有数のプロバイダとして、技術の進化、革新、シンプルさに対する世界の期待を超えることに専心しています。ViewSonic® では、当社の製品は世界中でプラスの影響を与えることができると考えており、お客様が選択された ViewSonic® 製品がお客様に役立つと確信しています。

繰り返しになりますが、ViewSonic® をお選びいただき、
誠にありがとうございます。

安全上のご注意

デバイスを使用する前に、以下の**安全上のご注意**をお読みください。

- 本ユーザーガイドは、安全な場所に保管してください。
- 全ての注意事項を読み、全ての仕様説明に従ってください。
- ご使用の際は、ディスプレイから 45 cm以上離れて座ってください。
- 換気を妨げないよう、ディスプレイの周囲、最低 10 cmは、清潔な状態を保ってください。
- ディスプレイは風通しの良い場所に置いてください。また、ディスプレイの内部に熱がこもらないように通風孔周辺には物を置かないでください。
- 発火や感電の危険を減らすため、水気、湿気がある場所での使用は避けてください。
- ディスプレイは直射日光の当たる場所に置かないでください。
- また、エアコンやストーブ、その他発熱する機器などの近くには設置しないでください。
- 本体の清掃は、やわらかい乾いた布などで行ってください。詳細は、本マニュアルの「メンテナンス」の章を参照してください。
- 画面に触れると油が付着する可能性があるため、画面には触れないでください。
- 画面の表面は傷つきやすいので、鋭利なものや硬いもので触れないようにしてください。
- 製品とサポート家具の間にある可能性のある布やその他の素材の上にデバイスを置かないでください。
- 本体を移動させる際は、落としたり、何かにぶついたりしないように十分にご注意ください。
- 本体を傾斜や凹凸のある場所、不安定な場所に置かないでください。本体が転倒・落下してけがや故障の原因となります。
- また、ディスプレイや接続ケーブルの上には重いものを置かないでください。
- デバイスセットのメーカーが推奨するキャビネットまたはスタンドまたは設置方法を常に使用してください。
- デバイスを安全に支えることができる家具を常に使用してください。
- デバイスがサポート家具の端からはみ出していないことを常に確認してください。
- 家具とデバイスの両方を適切なサポートに固定せずに、デバイスを背の高い家具(食器棚や本棚など)に置かないでください。
- デバイスや関連機器に到達するために家具に登る危険性について、常に子供たちに教育してください。

- 子供がいる可能性のある場所にモニターを置かないでください。
- おもちゃやリモコンなど、子供が登る可能性のあるものを、製品が置かれているデバイスや家具の上に置かないでください。
- 万一、煙、異音、異臭などが発生した場合は、直ちに本体の電源を切り、販売店または ViewSonic® にご連絡ください。そのままご使用を続けることは大変危険です。
- 分極プラグや接地プラグの安全規定を妨げないようにしてください。分極プラグは2つのブレードがあり、一方がやや幅広になっています。アースタイプのプラグには、2本のブレードと1本のアース用突起があります。幅の広いブレードとアース用突起は、安全のために用意されています。プラグがコンセントに合わない場合は、形状が一致する変換アダプタをご使用ください。
- プラグをコンセントに接続するときは、アース端子を外さないでください。アース端子を絶対に取り外さないでください。
- デバイスに接続されているコードやケーブルは、つまずいたり、引っ張ったり、つかんだりしないように、常に配線して管理してください。
- プラグや電源コードが、何か物に踏まれたり、挟まれたりしないようにしてください。本体から突出した電源コード部分は、特に注意してください。電源プラグはコンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- 長期間使用しない場合には、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 建物に設置されている配電システムを確認してください。システムは、定格 120/240V、20A の回路ブレーカーを提供する必要があります。
- カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルなど、付属品 / アクセサリはメーカーが指定する物のみをご使用ください。
- 移動台車を使用して製品を移動する際には、転倒によって怪我をしないようにご注意ください。
- 製品の修理は、認定されたサービス担当者にご依頼ください。以下のような破損の場合は、修理が必要となります。
 - » 電源コードまたはプラグが破損している。
 - » 本体に液体がかかったり、何か物を落としてしまった。
 - » 雨や湿気にさらしてしまった。
 - » 本体が正常に操作できない。または落としてしまった。

- 長時間大音量で聴いた場合、聴力に悪影響を及ぼすことがあります。
- ロープやその他の拘束装置を使用してディスプレイを壁や固定物に固定すると、ディスプレイの重量を支え、ディスプレイの転倒を防ぐことができます。
- 既存のディスプレイを保持して再配置する場合は、上記と同じ考慮事項を適用する必要があります。

注意事項： LCDディスプレイは壊れやすいです。パネルやフレームに圧力をかけないでください。

目次

安全上のご注意	3
はじめに	8
付属品.....	8
各部の名称.....	9
本体の接続	10
電源との接続.....	10
外付け機器との接続.....	11
電力供給.....	13
ノートパソコンまたは携帯電話に電力を供給する	13
電源検出.....	13
電力供給 - 詳細情報.....	14
ディスプレイの使用	15
視聴角度の調整	15
傾き角度調整.....	15
ディスプレイ方向調整 (ディスプレイピボット).....	17
本体電源のオン/オフ	18
コントロールパネルキー (ボタン) の使用.....	19
Startup Menu (スタートアップメニュー)	19
ホットキー	21
設定.....	22
一般的な操作.....	22
OSDメニューツリー.....	24
メニューオプション.....	30

付録	36
仕様.....	36
用語説明.....	38
トラブルシューティング.....	43
メンテナンス.....	45
お手入れの際の注意.....	45
画面のお手入れ.....	45
ケースのお手入れ.....	45
免責事項.....	45
規制およびサービス情報	46
コンプライアンス情報.....	46
FCCコンプライアンス声明.....	46
カナダ産業省の声明.....	46
欧州諸国のCE適合.....	46
RoHS2コンプライアンス宣言.....	47
インドの有害物質規制.....	48
製品ライフサイクル終了時の製品の廃棄.....	48
著作権情報.....	49
カスタマーサポート.....	50
限定保証.....	51

はじめに

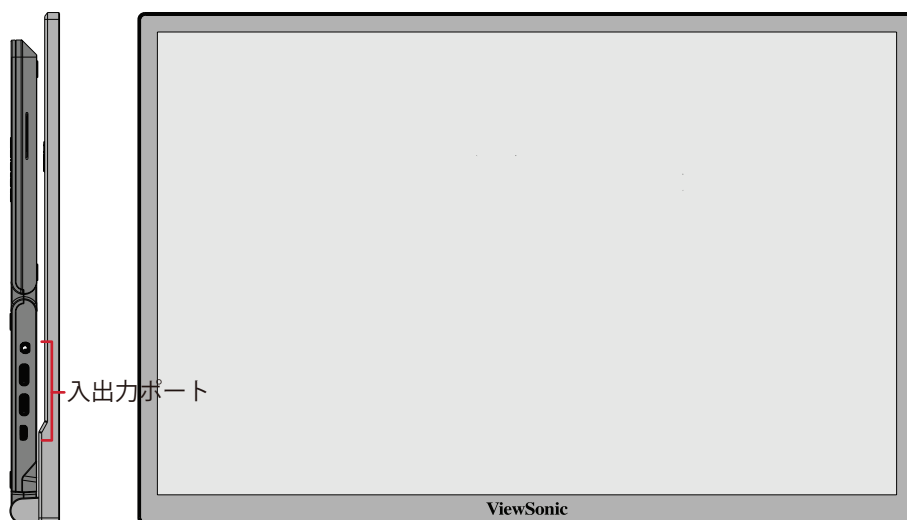
付属品

- モニター
- 電源アダプタ
- USBタイプC-USBタイプAケーブル (1.5 m)
- マイクロHDMI-HDMIケーブル (1.1 m)
- USBタイプC-USBタイプCケーブル (1.1 m)
- クイックスタートガイド
- 保護バッグ

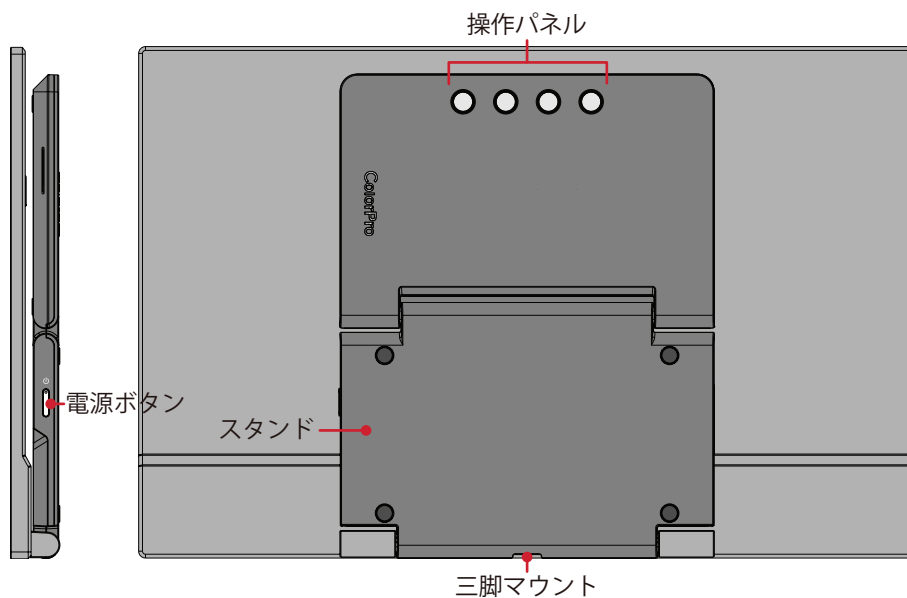
注意事項 同梱されている電源ケーブルとビデオケーブルは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。

各部の名称

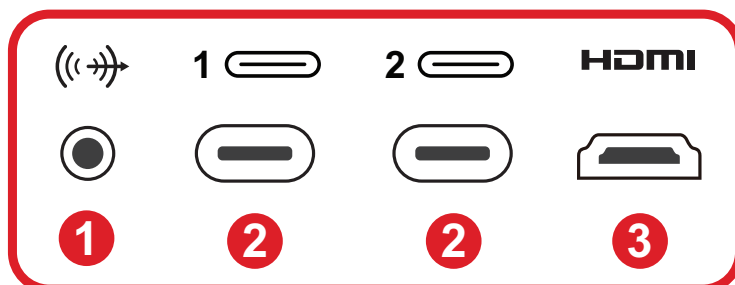
前面



背面



入出力ポート



1. Audio Out

2. USB Type C

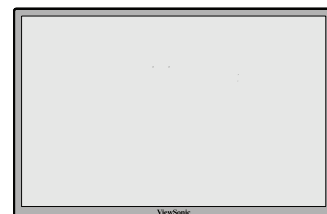
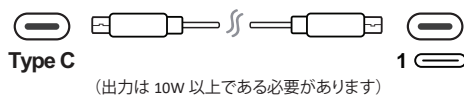
3. Micro HDMI

本体の接続

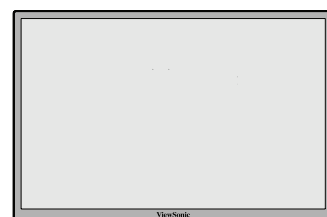
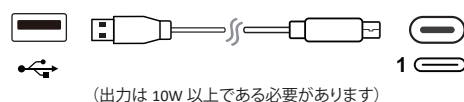
電源との接続

モニターは、次のいずれかの構成で電源を入れることができます。

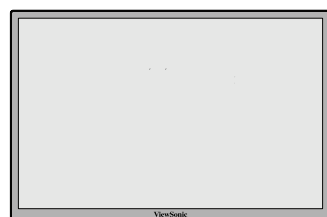
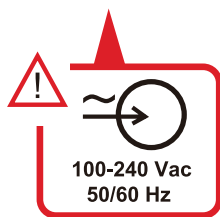
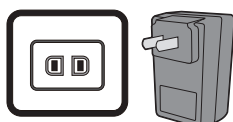
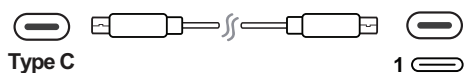
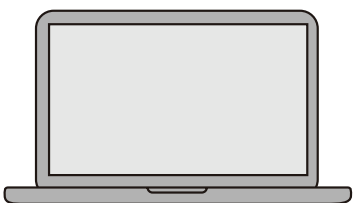
• タイプ C 接続



• タイプ A 接続



• 電源アダプタ



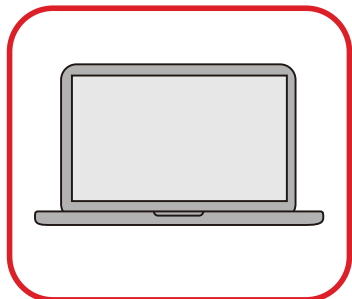
注意事項 詳細については、「電力供給」を参照してください。

外付け機器との接続

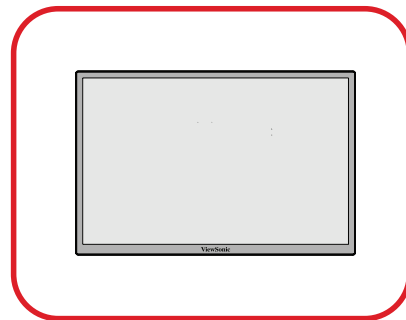
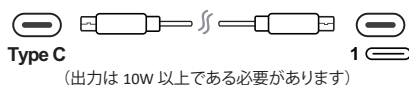
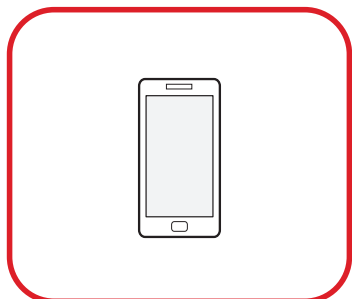
外部デバイスは、次の構成のいずれかで接続できます。

• タイプ C 接続

タイプ C ケーブルを外部デバイスからモニターの**タイプ C** ポートに接続します。

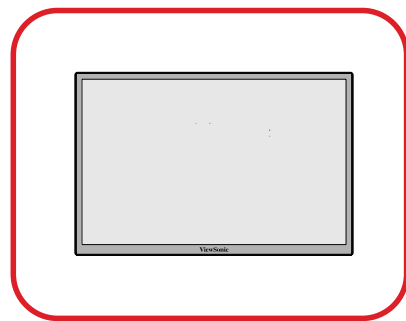
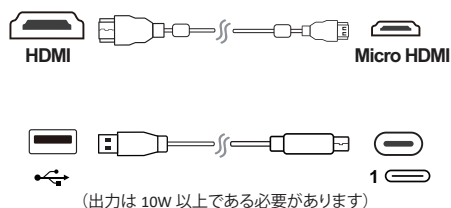
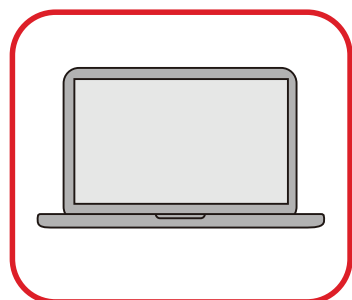


または



• マイクロ HDMI 接続

- ① マイクロ HDMI ケーブルを外部デバイスからモニターの**マイクロ HDMI** ポートに接続します。
- ② 外部デバイスから USB タイプ A- タイプ C ケーブルを接続します。

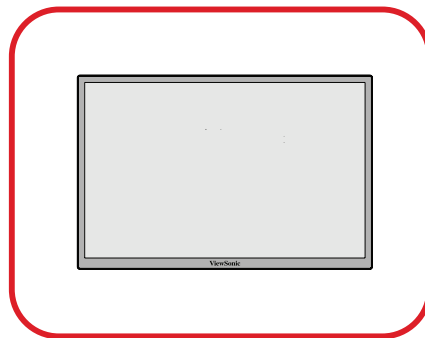
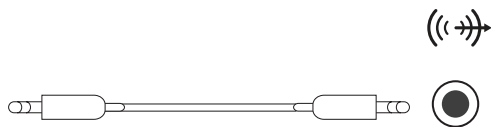
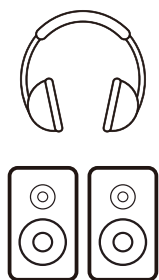


注意事項

- USBタイプA-タイプC接続も、ノートパソコンからモニターに電力を供給します。出力は10W以上である必要があります。

• オーディオ接続

イヤフォン / ヘッドフォンのオーディオジャックを、モニターのオーディオ出力ポートに接続します。他にも、オーディオケーブルを使用して、モニターをサウンドバーに接続することもできます。



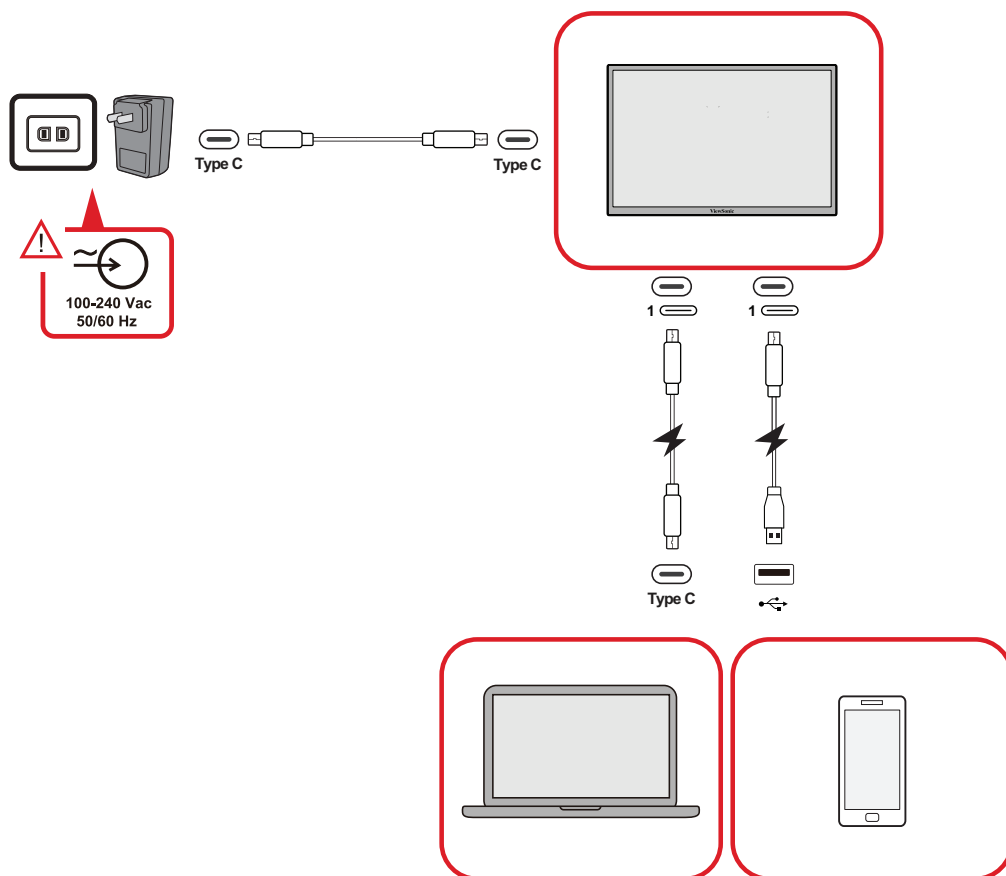
電力供給

ノートパソコンまたは携帯電話に電力を供給する

付属の電源アダプターがモニターに接続されている場合、モニターは接続されたノートパソコンまたは携帯電話を充電できます。

注意事項

- 電力供給出力：DC 9V/1.33A、12V/1.75A、15V/2A、20V/2.0A。
- モニターを携帯電話に接続する際には、電力を供給できるように電源アダプターも接続することをお勧めします。



電源検出

この製品は、電源装置がアダプター、ノートパソコン、携帯電話のいずれであるかを検出します。

- 電源がアダプターまたはノートパソコンの場合、デフォルトの輝度値は100になります。
- 電源が携帯電話の場合、デフォルトの輝度値は15です。
- 携帯電話を使用してモニターに電力を供給する場合、デフォルトの輝度レベルは15です。

注意事項 携帯電話の出力は限られているため、輝度レベルを高く調整しないでください。ディスプレイが点滅したり、シャットダウンしたりする可能性があります。

電力供給 - 詳細情報

モニター的设计上、次の点にご注意ください。

- 最初に接続されたデバイスがメイン入力信号になります。
- タイプCポートが外部デバイスを電源アダプターとして認識すると、電力の分配のみが行われます。入力信号は表示されません。
- タイプCポートの1つが電源アダプターとして認識された場合にのみ、もう一方のポートは双方向の電力を供給できます。

ノートパソコンが最初にモニターに接続され、次に携帯電話が接続された場合、どちらのタイプCポートも電源アダプターへの接続として接続を認識しないため、携帯電話のバッテリーは充電されません。

注意事項 携帯電話の画面を表示する場合は、ノートパソコンに接続されているタイプCケーブルを抜く必要があります。

携帯電話が最初にモニターに接続され、次にノートパソコンが接続された場合、タイプCポートの1つが電源アダプターに接続されていると認識されるため、携帯電話のバッテリーが充電されます。

注意事項 ノートパソコンの画面を表示する場合は、携帯電話に接続されているタイプCケーブルを抜く必要があります。

モニター的设计上、2台のノートパソコン、または1台のノートパソコンとデスクトップコンピューターを同時に接続しないでください。これにより、配電の競合が発生し、画面が点滅したり、ノートパソコンが強制的にシャットダウンされたりする可能性があります。

注意事項

- ノートパソコンにタイプCポートがある場合は、タイプC経由でモニターに接続してください。
- モニターのもう一方のタイプCポートを、タイプAとHDMIを介して同時に別のノートパソコンまたはデスクトップコンピューターに接続しないでください。
- ノートパソコンにHDMIおよびタイプAポートしかない場合は、HDMIおよびタイプAからタイプC経由でモニターに接続してください。
- ノートパソコンのタイプAポートの電力出力が10Wを超えない場合は、当社の電源アダプターを使用してモニターに接続してください。
- モニターのもう一方のタイプCポートを別のノートパソコンまたはデスクトップコンピューターに同時に接続しないでください。

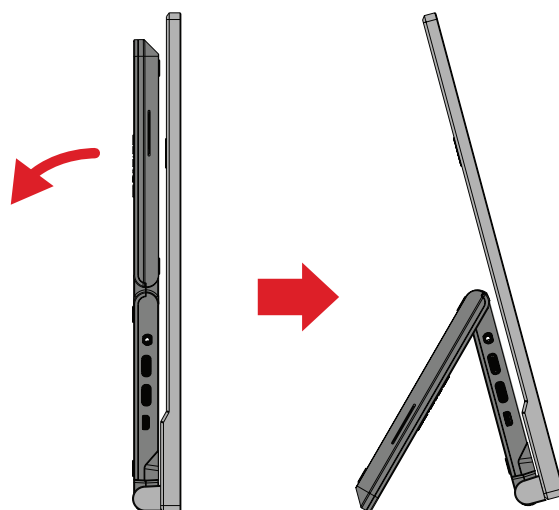
ディスプレイの使用

視聴角度の調整

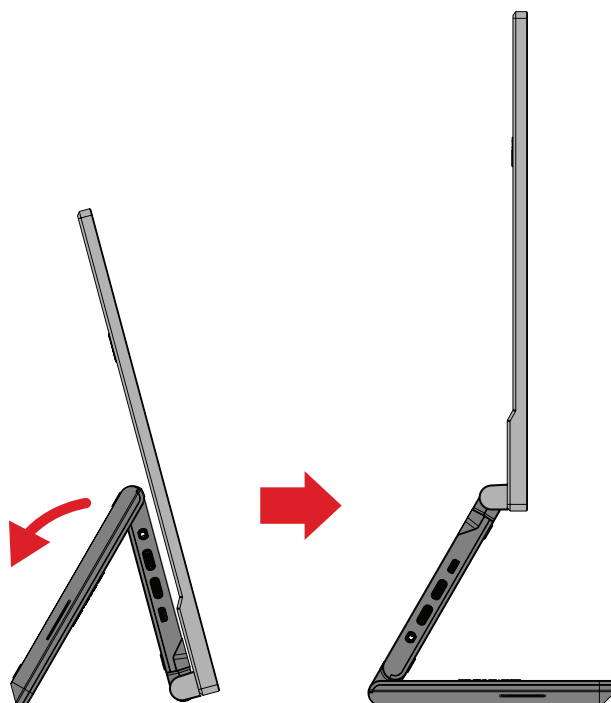
傾き角度調整

モニターには、複数の視野角 (20°～ 55.5°) を可能にする二重ヒンジスタンドが付属しています。

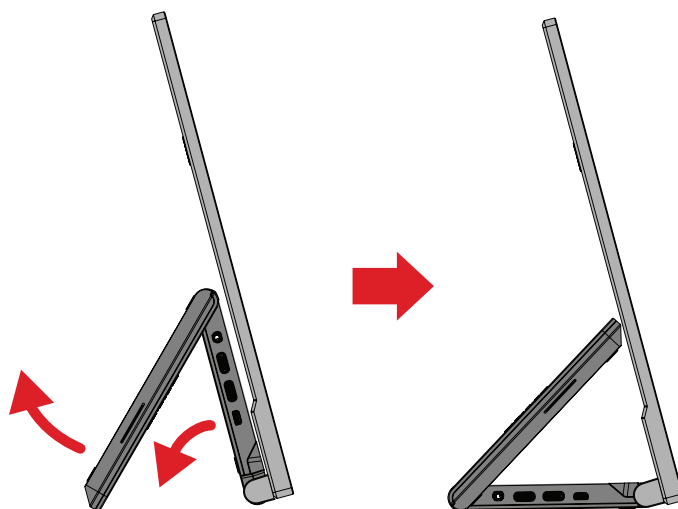
- チルトオプション1



- チルトオプション2



- チルトオプション3

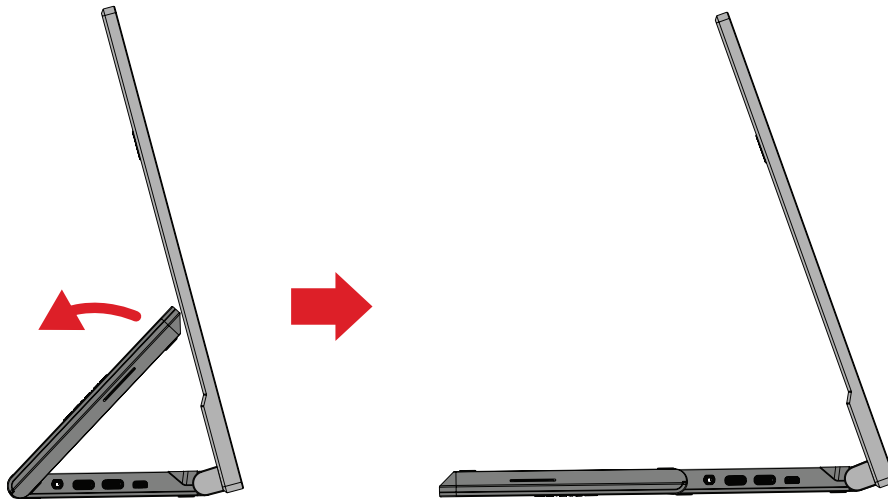


注意事項

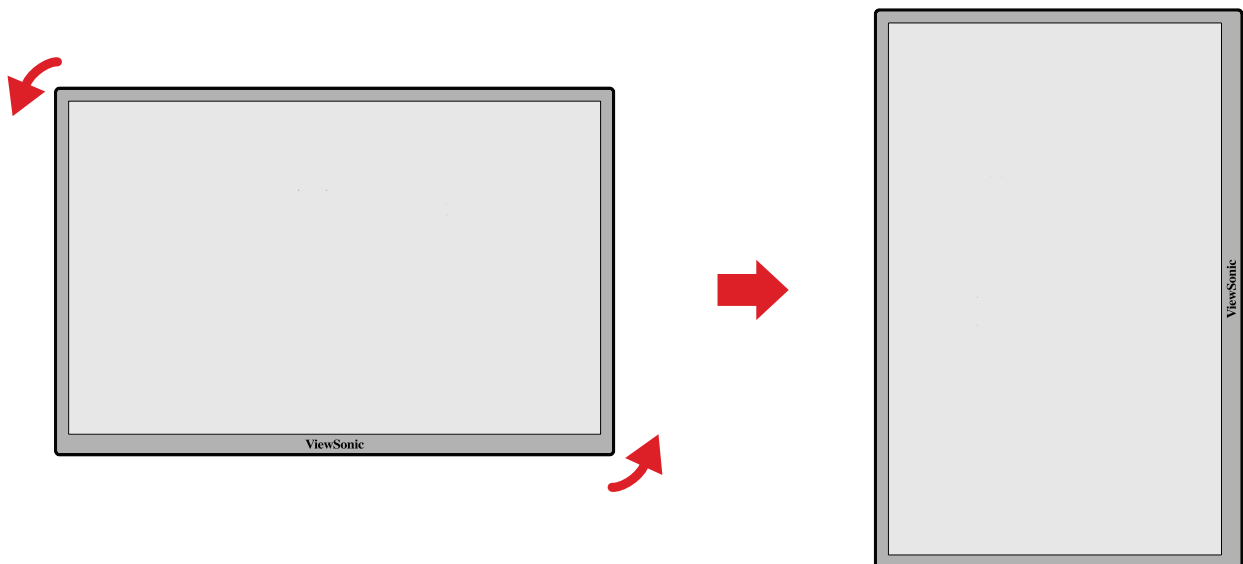
調整するときは、一方の手でスタンドをしっかりと支え、他方の手でディスプレイを前方または後方に傾きを変えてください。

ディスプレイ方向調整(ディスプレイピボット)

① モニターのスタンドを一番長く伸ばします。



② ディスプレイを 90°時計回り、又は反時計回りに、横方向から縦方向に回転させます。

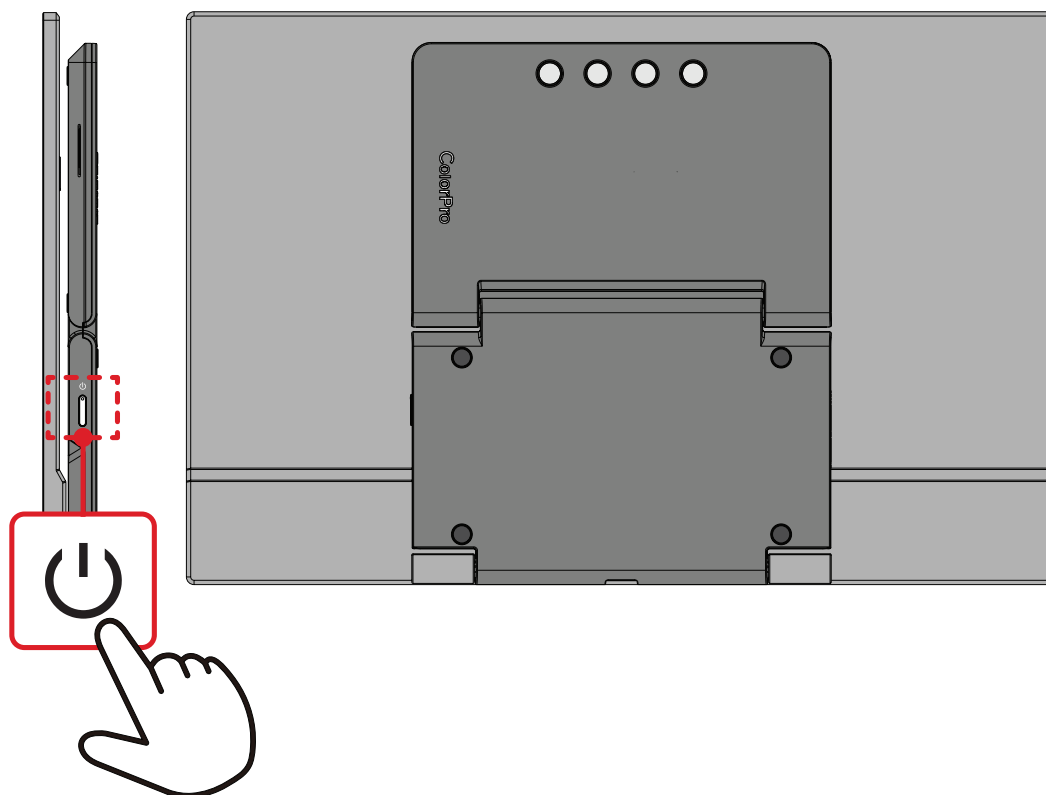


注意事項

- ディスプレイを回転させる際は、画面の表示方向を手動で設定変更します。
- 調整する際は、必ずディスプレイの両脇をしっかりと両手で押さえてください。

本体電源のオン／オフ

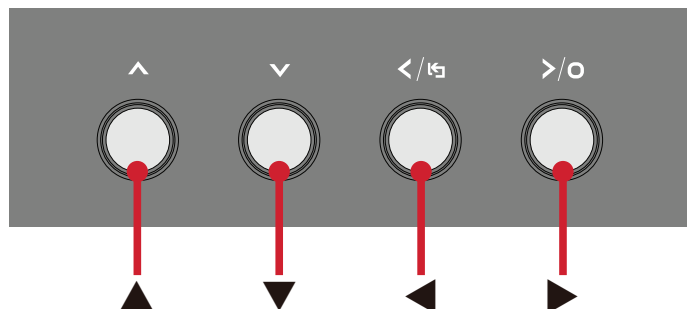
- ① 利用可能ないずれかの構成で電源に接続します。
- ② **Power (電源)** ボタンをタッチして、本体の電源を入れます。
- ③ 本体の電源を切るには、再度 **Power (電源)** ボタンをタッチします。



注意事項 本体は、電源ケーブルがコンセントに接続されている限り電力を消費します。本体を長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

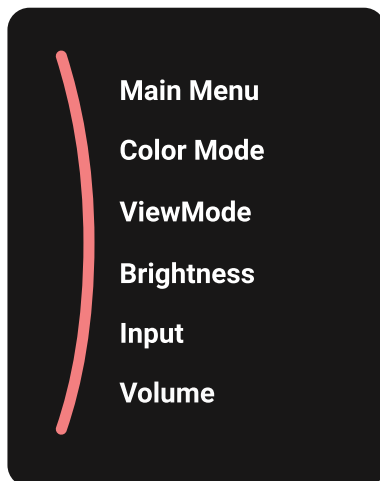
コントロールパネルキー（ボタン）の使用

コントロールパネルのキーを使用して、Startup Menu (スタートアップメニュー) にアクセスし、ホットキーを有効にし、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューをナビゲートし、設定を変更します。



Startup Menu (スタートアップメニュー)

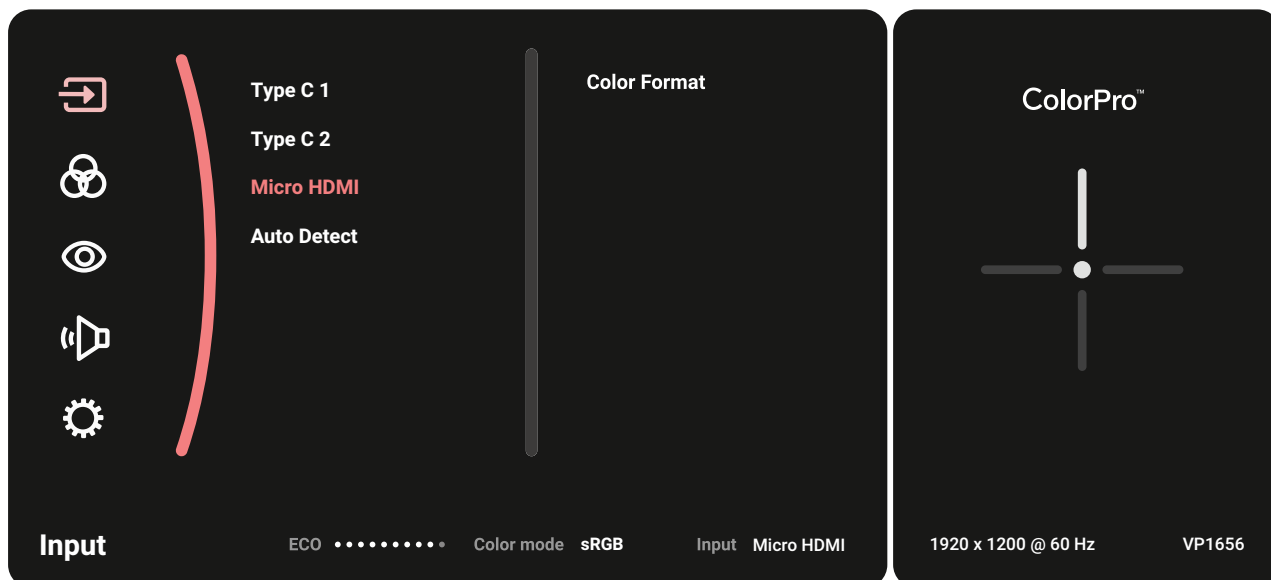
▲/▼/▶ をキーを押して、スタートアップメニューを起動します。



備考: 画面の下部(コントロールキー上部)に表示されるキーガイドに従ってオプションを選択するか、調整を行います。

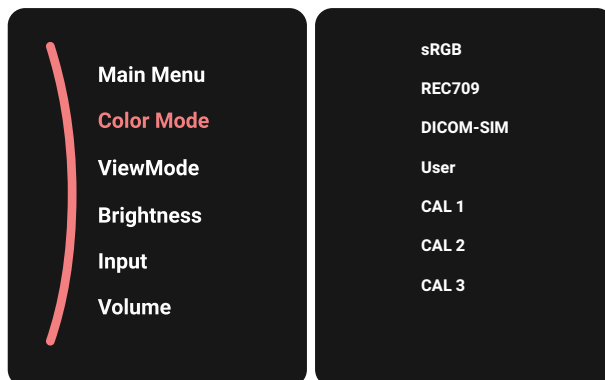
Main Menu (メインメニュー)

ディスプレイのメインメニューを表示します。



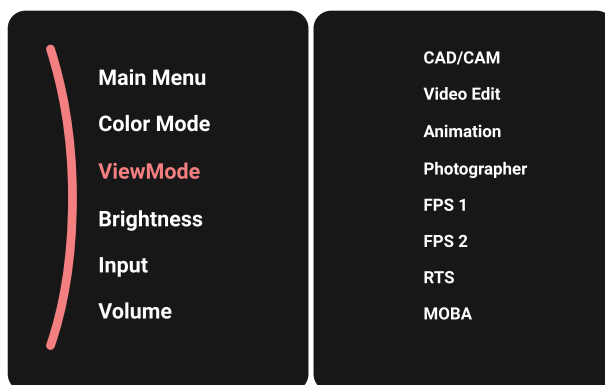
Color Mode (カラーモード)

プリセットされた標準色設定の1つを選択します。



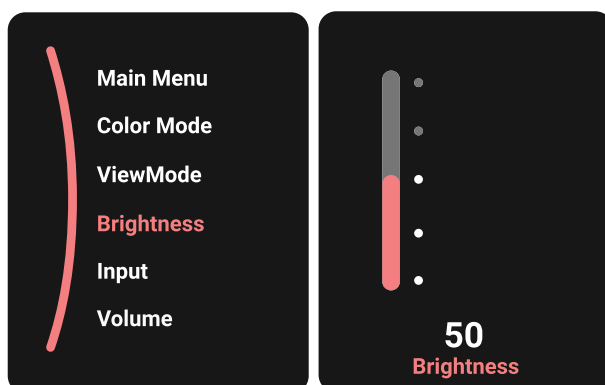
ViewMode (View モード)

プリセット済みのディスプレイ設定の中から1つ選択します。



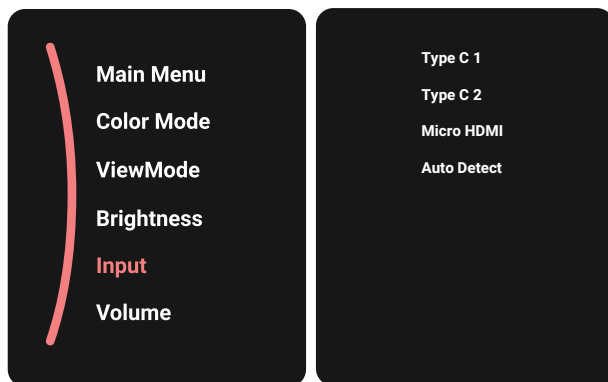
Brightness (輝度)

明るさレベルを調整できます。



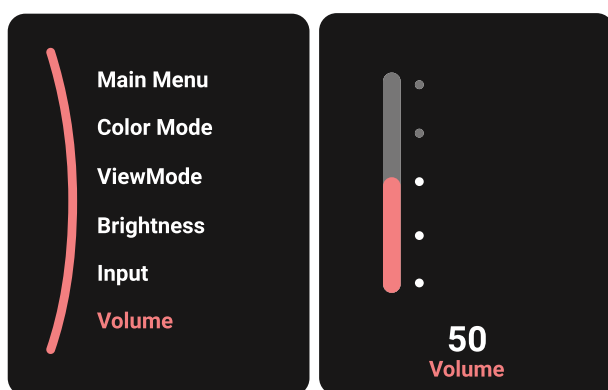
Input (入力)

入力方式を選択できます。



Volume (音量)

音量レベルを調整します。



注意事項 ◀ をキーを押して、前のメニューに戻ります。

ホットキー

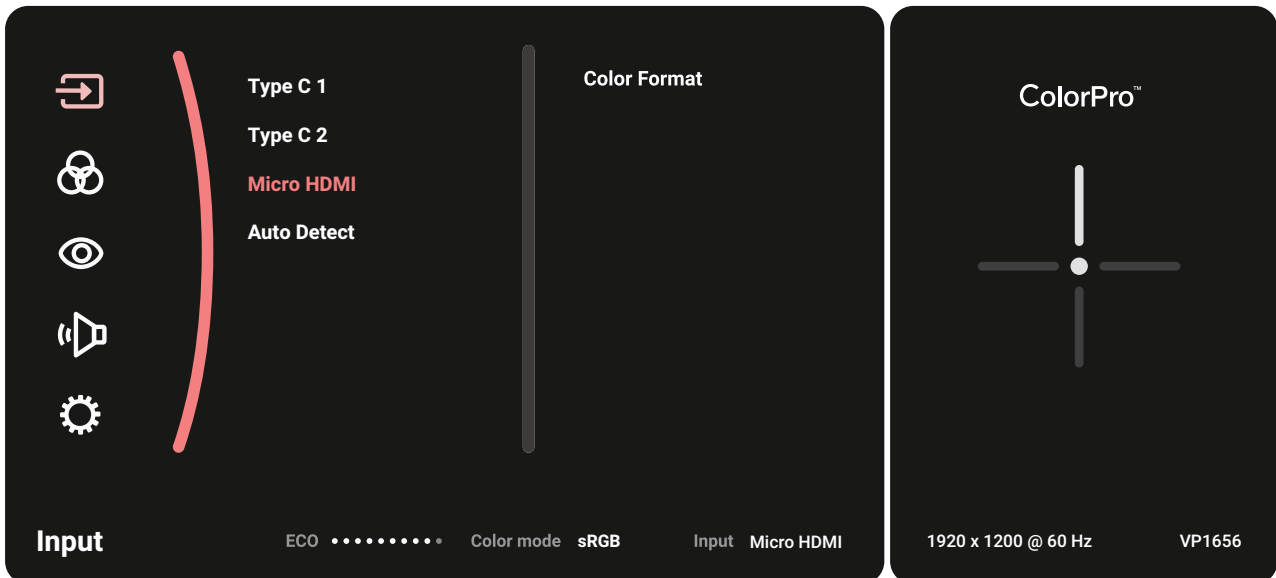
ディスプレイ上のOSDメニューが表示されていない時、コントロールパネルのボタンを使用して特別な機能にアクセスできます。

ボタン	詳細
▼	<p>本体に電源が入っている時に、ボタンを押して画面の起動を表示／非表示にできます。</p> 

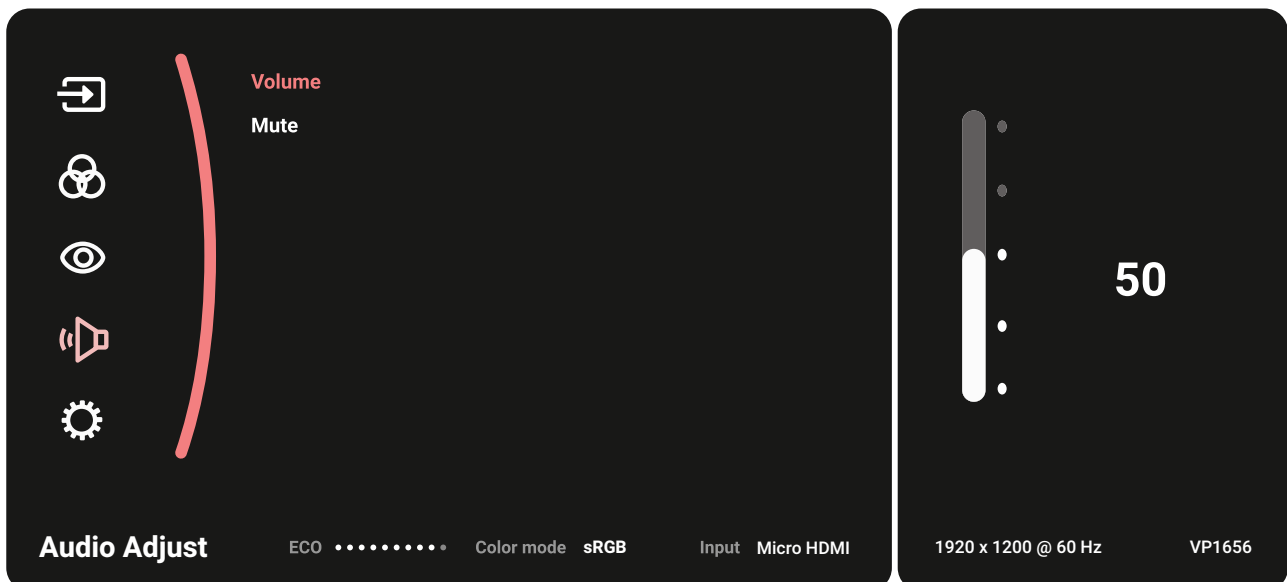
設定

一般的な操作

- ① ▲/▼/▶ をキーを押して、スタートアップメニューを表示します。その後、**Main Menu (メインメニュー)** に移動して ▶ キーを押し、OSD メニューを表示します。



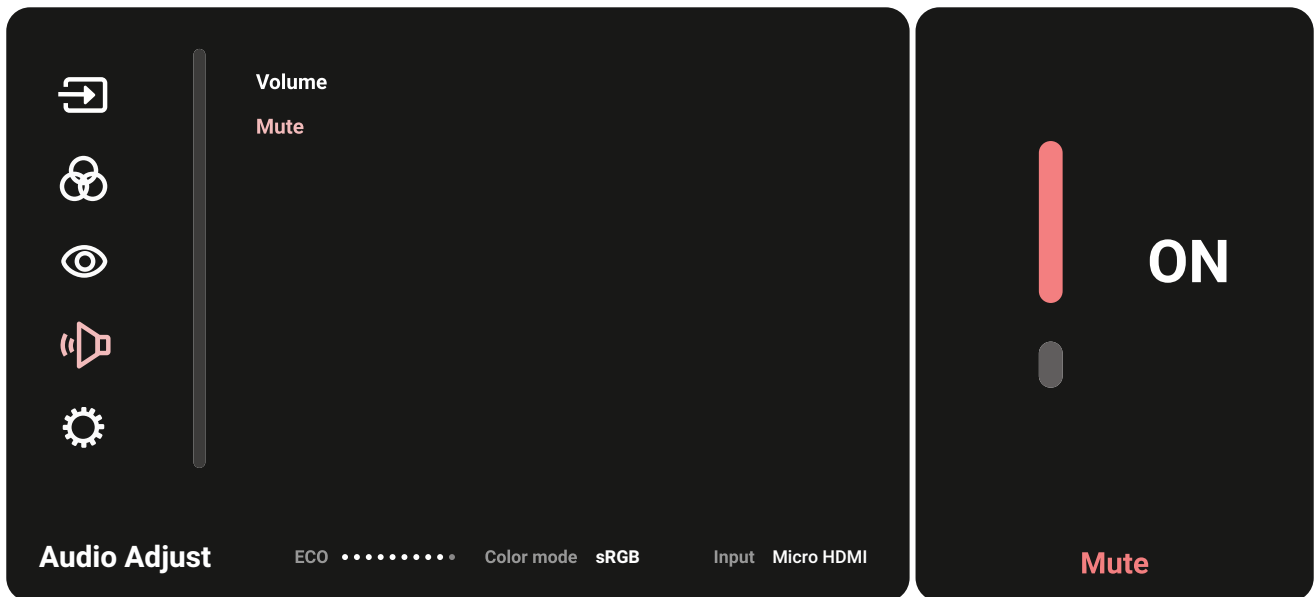
- ② ▲または ▼ をキーを押して、設定したいメインメニューを選択します。次に、▶ キーを押して、選択されたメニューに入ります。



- ③ ▲または▼をキーを押して、目的のメニューオプションを選択します。次に、▶キーを押して、サブメニューに入ります。



- ④ ▲または▼をキーを押して、設定を調整 / 選択します。次に、▶キーを押して、確定します。



- ⑤ ◀をキーを押して、前のメニューに戻ります。

OSD メニューツリー

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Input Select	Type C 1	Color Format	Auto	
			RGB (Full Range)	
			RGB (Limited Range)	
			YUV (Full Range)	
			YUV (Limited Range)	
	Type C 2	Color Format	Auto	
			RGB (Full Range)	
			RGB (Limited Range)	
			YUV (Full Range)	
			YUV (Limited Range)	
	Micro HDMI	Color Format	Auto	
			RGB (Full Range)	
			RGB (Limited Range)	
			YUV (Full Range)	
			YUV (Limited Range)	
	Auto Detect	On		
Off				
Color Mode	sRGB	Brightness	(-/+ , 0~100)	
		Color Temperature	Panel Default	
			D93	
			D75	
			D65	
			D63	
			D50	
		Gamma	sRGB	
			1	
			1.4	
			1.8	
			2.0	
			2.2	
			2.4	
			2.6	
		Sharpness	(-/+ , 0/25/50/70/100)	
		Aspect Ratio	1:1	
			4:3	
			Full Screen	
		Recall		

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Color Mode	REC709	Brightness	(-/+, 0~100)
		Color Temperature	Panel Default
			D93
			D75
			D65
			D63
			D50
		Gamma	REC709
			1
			1.4
			1.8
			2.0
			2.2
			2.4
	2.6		
	Sharpness	(-/+, 0/25/50/70/100)	
	Aspect Ratio	1:1	
		4:3	
Full Screen			
Recall			
DICOM-SIM	Sharpness	(-/+, 0/25/50/70/100)	
	Aspect Ratio	1:1	
		4:3	
		Full Screen	
Recall			

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Color Mode	User	Contrast	(-/+ , 0~100)	
		Brightness	(-/+ , 0~100)	
		Color Temperature	Panel Default	
			D93	
			D75	
			D65	
			D63	
			D50	
		Gamma	Panel Default	
			1	
			1.4	
			1.8	
			2.0	
			2.2	
			2.4	
			2.6	
		Advanced DCR	(-/+ , 0/25/50/75/100)	
		Gain	Red	(-/+ , 0~100)
			Green	(-/+ , 0~100)
			Blue	(-/+ , 0~100)
		Offset	Red	(-/+ , 0~100)
			Green	(-/+ , 0~100)
			Blue	(-/+ , 0~100)
		Hue	Red	(-/+ , 0~100)
			Green	(-/+ , 0~100)
			Blue	(-/+ , 0~100)
			Cyan	(-/+ , 0~100)
Magenta	(-/+ , 0~100)			
Yellow	(-/+ , 0~100)			
Saturation	Red	(-/+ , 0~100)		
	Green	(-/+ , 0~100)		
	Blue	(-/+ , 0~100)		
	Cyan	(-/+ , 0~100)		
	Magenta	(-/+ , 0~100)		
	Yellow	(-/+ , 0~100)		

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション			
Color Mode	User	Sharpness	(-/+ , 0/25/50/75/100)		
		Aspect Ratio	1:1		
			4:3		
			Full Screen		
		Blue Light Filter	(-/+ , 0~5)		
	Recall				
	CAL 1/2/3				
ViewMode	CAD/CAM	Ultra Clear	(-/+ , 0~100)		
		Advanced-Sharpness	(-/+ , 0/25/50/75/100)		
			Advanced-Gamma		Panel Default
		(-/+ , 1~2.6)			
	Contrast	(-/+ , 0~100)			
	Video Edit	Ultra Clear	(-/+ , 0~100)		
		Advanced-Sharpness	(-/+ , 0/25/50/75/100)		
		Advanced-Gamma	Panel Default		
	(-/+ , 1~2.6)				
	Animation	Ultra Clear	(-/+ , 0~100)		
		Advanced-Sharpness	(-/+ , 0/25/50/75/100)		
		Black Stabilization	(-/+ , 0~100)		
		Contrast	(-/+ , 0~100)		
	Photographer	Ultra Clear	(-/+ , 0~100)		
		Advanced-Sharpness	(-/+ , 0/25/50/75/100)		
		Advanced-Gamma	Panel Default		
			(-/+ , 1~2.6)		
	Contrast	(-/+ , 0~100)			
		FPS 1			
		FPS 2			
		RTS			
		MOBA			
	Audio Adjust	Volume	(-/+ , 0~100)		
		Mute	On		
Off					

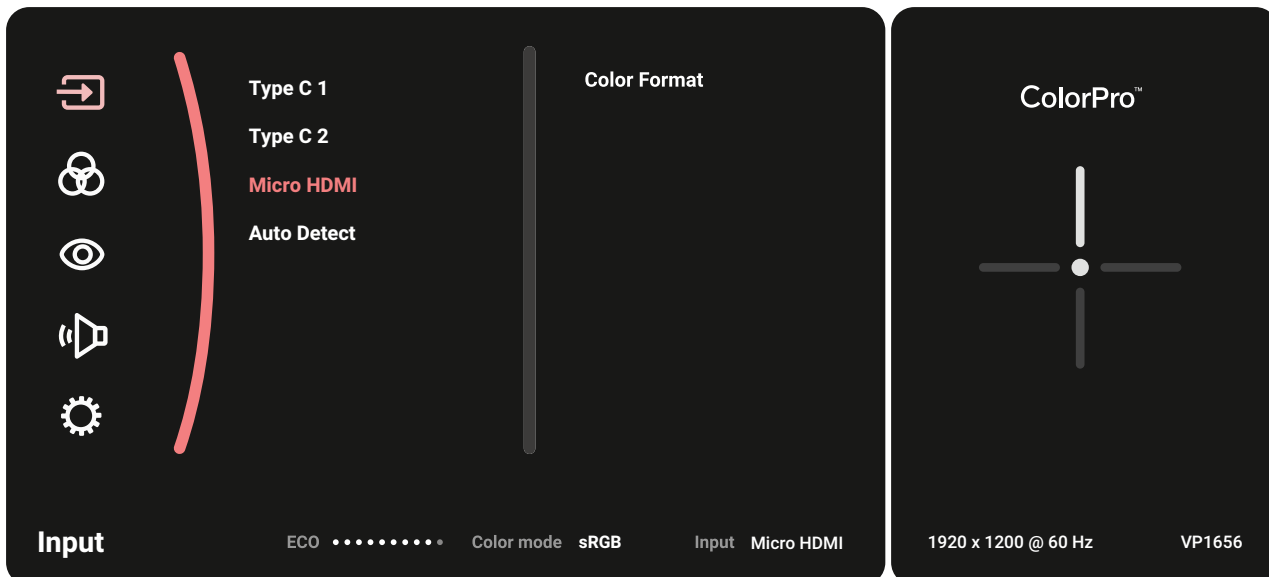
メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Setup Menu	Language Select	English	
		Français	
		Deutsch	
		Español	
		Italiano	
		Suomi	
		Русский	
		Türkçe	
		日本語	
		한국어	
		繁體中文	
		简体中文	
		Česká	
		Svenska	
	Tiếng Việt		
	Resolution	On	
	Notice	Off	
	Information		
	OSD Timeout	(-/+, 5/15/30/60)	
	OSD	On	
	Background	Off	
	OSD Pivot	Auto	
		0°	
		+90°	
		-90°	
		180°	
	Power Indicator	On	
		Off	
Auto Power Off	On		
	Off		
Sleep	30 minutes		
	45 minutes		
	60 minutes		
	120 minutes		
	Off		

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Setup Menu	ECO Mode	Standard	
		Optimize	
		Conserve	
		Energy Saving	
		Off	
	Overscan	On	
		Off	
	Response Time	Standard	
		Advanced	
		Ultra Fast	
	Burn-in Eraser	On	
		Off	
	DDC/CI	On	
		Off	
	Rename		
	All Recall		

メニューオプション

Input (入力)

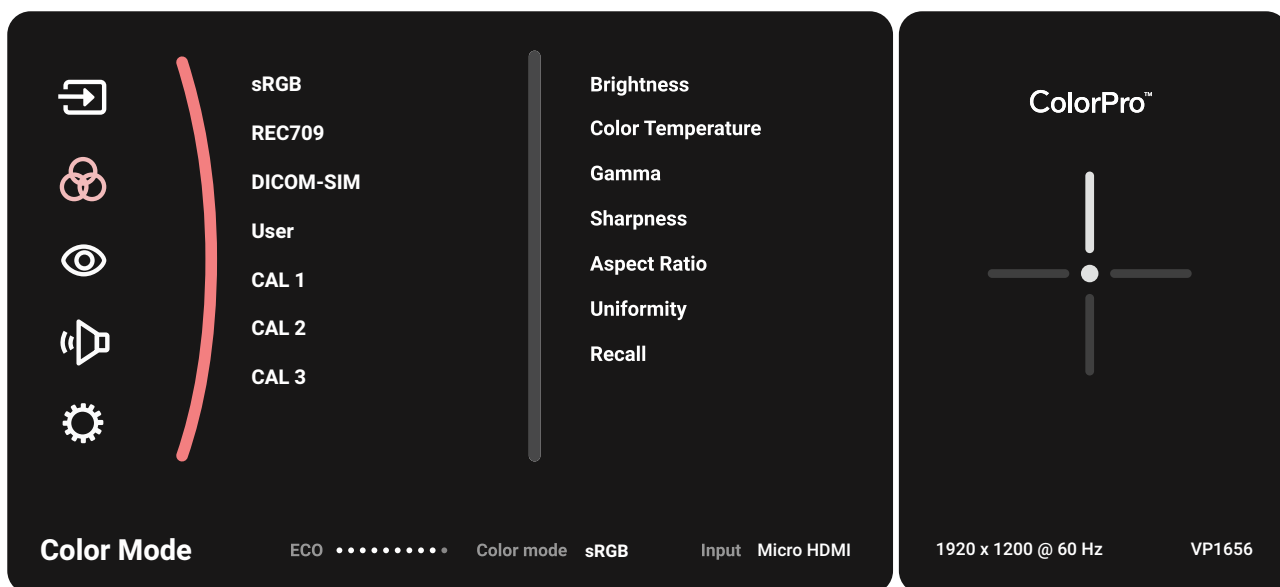
- ① ▲/▼/▶ をキーを押して、スタートアップメニューを表示します。その後、**Main Menu (メインメニュー)** に移動して ▶ キーを押し、OSD メニューを表示します。
- ② ▲ または ▼ をキーを押して、**Input (入力)** を選択します。次に、▶ キーを押して、**Input (入力)** メニューに入ります。



- ③ ▲ または ▼ をキーを押して、目的の入力ソースを選択します。次に、▶ キーを押して選択を確定します。

Color Mode (カラーモード)

- ① ▲/▼/▶ をキーを押して、スタートアップメニューを表示します。その後、Main Menu (メインメニュー) に移動して ▶ キーを押して、OSD メニューを表示します。
- ② ▲ または ▼ をキーを押して、Color Mode (カラーモード) を選択します。次に、▶ キーを押して、Color Mode (カラーモード) メニューに入ります。

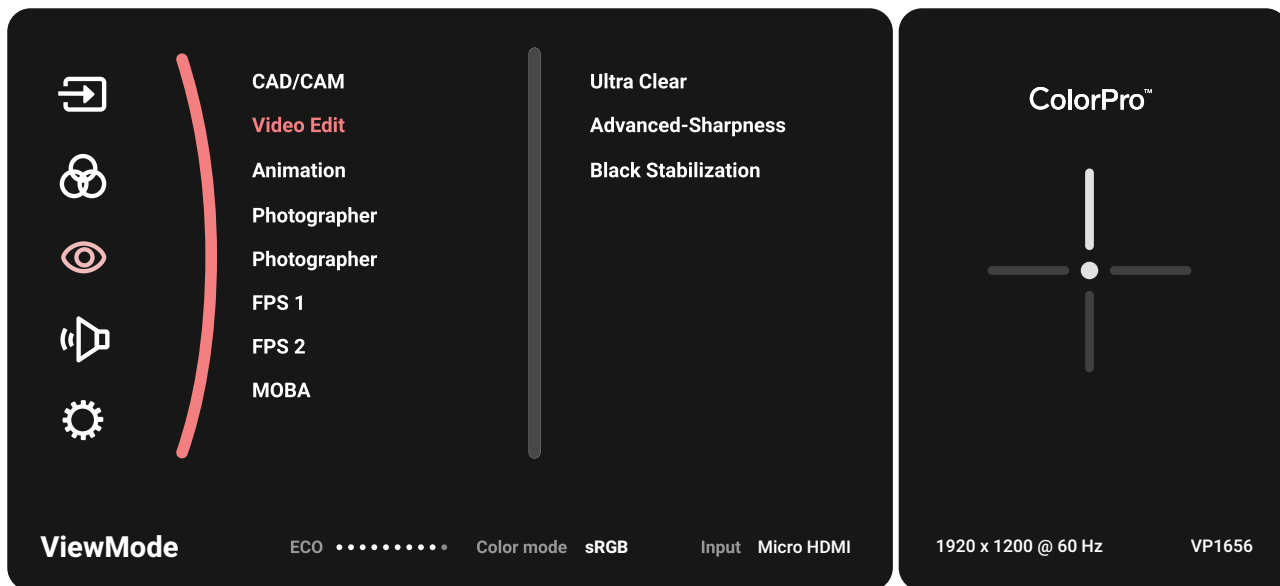


- ③ ▲ または ▼ をキーを押して、メニューオプションを選択します。次に、▶ キーを押して、サブメニューに入ります。
- ④ ▲ または ▼ をキーを押して、設定を調整 / 選択します。次に、▶ キーを押して確定します (該当する場合)。

メニューオプション	詳細
sRGB	sRGB規格の精密な色域とガンマ。
REC709	ITU-R Rec. 709規格の精密な色域とガンマ。
DICOM-SIM	ガンマ曲線はDICOMシミュレーションに設定されています。
User	カスタム、ユーザー定義設定。
CAL 1/2/3	ハードウェアのキャリブレーションデータ。

ViewMode (View モード)

- ① ▲/▼/▶ をキーを押して、スタートアップメニューを表示します。その後、Main Menu (メインメニュー) に移動して ▶ キーを押して、OSD メニューを表示します。
- ② ▲ または ▼ をキーを押して、ViewMode (View モード) を選択します。次に、▶ キーを押して、ViewMode (View モード) メニューに入ります。

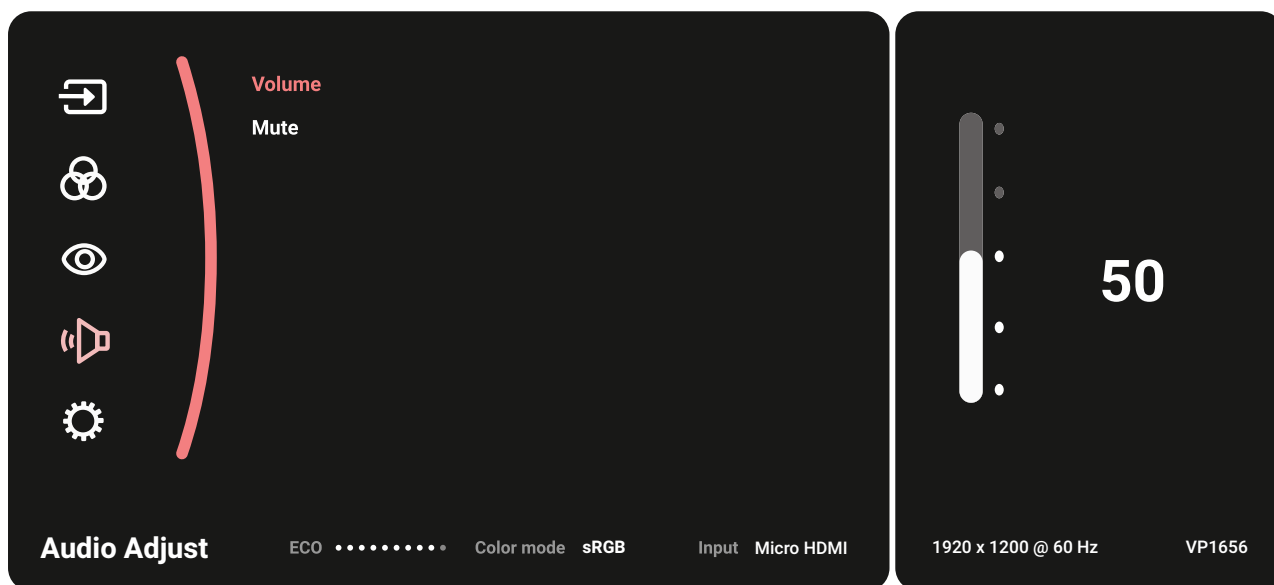


- ③ ▲ または ▼ をキーを押して、メニューオプションを選択します。次に、▶ キーを押して、サブメニューに入ります。

メニューオプション	詳細
CAD/CAM	グラフィックデザインファイルを表示するには、このオプションを選択します。
Video Edit (ビデオ編集)	ビデオ編集の場合は、このオプションを選択します。
Animation (アニメーション)	アニメーションの場合は、このオプションを選択します。
Photographer (フォトグラファー)	写真ファイルを表示するには、このオプションを選択します。
FPS 1	ファーストパーソンシューティングゲームに最適です。
FPS 2	ファーストパーソンシューティングゲームに最適です。
RTS	リアルタイム戦略ゲームに最適です。
MOBA	マルチプレイヤーオンラインバトルアリーナゲームの場合は、このオプションを選択します。

Audio Adjust (音声調整)

- ① ▲/▼/▶ をキーを押して、スタートアップメニューを表示します。その後、Main Menu (メインメニュー) に移動して ▶ キーを押して、OSD メニューを表示します。
- ② ▲ または ▼ をキーを押して、Audio Adjust (音声調整) を選択します。次に、▶ キーを押して、Audio Adjust (音声調整) メニューに入ります。

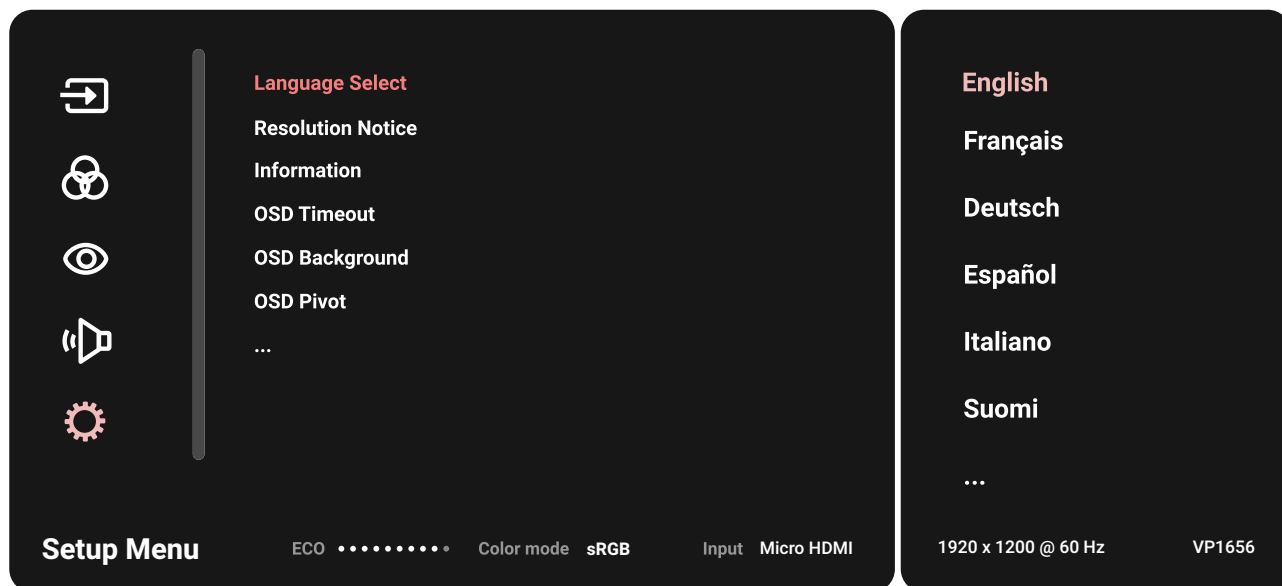


- ③ ▲ または ▼ をキーを押して、メニューオプションを選択します。次に、▶ キーを押して、サブメニューに入ります。
- ④ ▲ または ▼ をキーを押して、設定を調整 / 選択します。次に、▶ キーを押して確定します (該当する場合)。

メニューオプション	詳細
音量	音量レベルを調整します。
ミュート	消音に設定します。

Setup Menu (設定メニュー)

- ① ▲/▼/▶ をキーを押して、スタートアップメニューを表示します。その後、Main Menu (メインメニュー) に移動して ▶ キーを押して、OSD メニューを表示します。
- ② ▲ または ▼ をキーを押して、Setup Menu (設定メニュー) を選択します。次に、▶ キーを押して、Setup Menu (設定メニュー) メニューに入ります。



- ③ ▲ または ▼ をキーを押して、メニューオプションを選択します。次に、▶ キーを押して、サブメニューに入ります。
- ④ ▲ または ▼ をキーを押して、設定を調整 / 選択します。次に、▶ キーを押して確定します (該当する場合)。

備考 一部のサブメニューオプションには、別のサブメニューがある場合があります。それぞれのサブメニューに入るには、▶ キーを押してください。画面の下部に表示されるキーガイドに従ってオプションを選択するか、調整を行います。

メニューオプション	詳細
Language Select (言語選択)	OSDメニューで使用可能な言語を選択します。
Resolution Notice (解像度のお知らせ)	このオプションを有効にすると、現在の画面解像度が間違っていることをユーザーに通知することができます。
Information (インフォメーション)	ディスプレイ情報を表示します。
OSD Timeout (OSDタイムアウト)	OSDメニューを画面に表示しておく時間を設定します。
OSD Background (OSD背景)	OSDメニューが画面に表示された時の、OSD背景の表示 / 非表示を設定します。

メニューオプション	詳細
OSD Pivot (OSD回転)	OSDメニューの回転値を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 自動: 内蔵Gセンサーを使用すると、ディスプレイを垂直に置くとき、OSDメニューが自動的に回転します。 • 0°: OSDメニューをピボットなしに設定します。 • +90°: OSDメニューをピボット+90°(右方向に90°)回転します。 • -90°: OSDメニューをピボット-90°(右方向に90°)回転します。 • 180°: OSDメニューをピボット180°(右方向に90°)回転します。
Power Indicator (電源インジケータ)	電源状態表示のオン/オフを設定します。オンに設定している場合は、電源が入っている時に表示ランプが青く点灯します。
Auto Power Off (自動電源オフ)	このオプションを有効にすると、一定の時間が経つと自動で電源をオフにすることができます。
Sleep (スリープ)	ディスプレイがスリープモードに入るまでの待機時間を設定します。
ECO Mode (エコモード)	消費電力を様々なモードの中からユーザーが選択することができます。
Overscan (オーバースキャン)	このオプションを有効にすると、アスペクト比を変更せずに画面サイズに合わせて画面を引き延ばします。
Response Time (応答速度)	ディスプレイの応答時間を標準、アドバンス、または超高速に設定します。
Burn-in Eraser (バーン インイレーザー)	画像の焼き付きを低減します。
Rename (名前の変更)	パーソナライズされたカスタムプロファイルの名前を変更します。
All Recall (メモリリセット)	すべての設定をデフォルト値にリセットします。

付録

仕様

項目	区分	仕様
LCD	タイプ	TFT アクティブマトリックス WUXGA1920 x 1200、0.17952 mm x 0.17952 mm ピクセルピッチ
	画面サイズ	40.64 cm、16 インチ対角
	カラーフィルター	RGB 縦型
	表面素材	防眩タイプ (Haze 25%)、ハードコート加工 (3H)
入力信号	ビデオシンク	<u>TMDS digital (100 Ω)</u> HDMI (v. 1.4): f_h : 24~95 kHz, f_v : 50~75 Hz <u>Micro-Packet</u> Type C: f_h : 24~95 kHz, f_v : 50~75 Hz
互換性	PC	最大 1920 x 1200
	Macintosh	最大 1920 x 1200
解像度 ¹	推奨周波数	1920 x 1200 @ 60Hz
	対応	<ul style="list-style-type: none">• 1920 x 1200 @ 60, 75Hz• 1920 x 1080 @ 50, 60, 75Hz• 1600 x 1200 @ 60Hz• 1440 x 900 @ 60Hz• 1280 x 1024 @ 60, 75Hz• 1280 x 960 @ 60Hz• 1280 x 720 @ 60Hz• 1152 x 870 @ 75Hz• 1024 x 768 @ 60, 70, 75Hz• 800 x 600 @ 56, 60, 72, 75Hz• 720 x 400 @ 70Hz• 640 x 480 @ 60, 67, 72, 75Hz
電源 ²	入力電圧	100-240 VAC、50/60 Hz (自動切替)
表示領域	アクティブサイズ (H × V)	344.68 x 215.42 mm (13.57" x 8.48")
動作環境	気温	0° C ~ 40° C (32° F ~ 104° F)
	相対湿度	20% ~ 90% (結露なきこと)
	高度	9,842.52 フィート (3 km)

1- グラフィックカードをご使用の際は、仕様表の値を超える数値を設定するとディスプレイの故障につながる恐れがあるためご注意ください。

2- ViewSonic®製または認定されたメーカー製の電源アダプタ/電源コードのみをご使用してください。

項目	区分	仕様
保管環境	気温	-20°C ~ 60°C (-4 °F ~ 140 °F)
	相対湿度	5% ~ 90% (結露なきこと)
	高度	39,370.1 フィート (12 km)
寸法	寸法 (W x H x D)	363.88 x 239.52 x 23.15 mm (14.33" x 9.43" x 0.91")
重量	寸法	1.6 kg (3.52 ポンド)
消費電力	オン ³	8W (標準) 音声なし 8.6W (最大) 音声あり
	オフ	≤ 0.35W (最大)
	スタンバイ / スリープ	< 0.5W

HDMI™ HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

3- 試験条件はEEM標準に従ったものです。

用語説明

本章では、全てのLCDディスプレイモデルで使用される用語について説明します。全ての用語は、アルファベット順に記載しております。

注意事項 お使いのディスプレイに該当しない箇所もあります。

A **Advanced DCR (アドバンス DCR)**

アドバンスド DCR 技術は、自動で画面信号を検出し、スマートにバックライトの明るさと色合いをコントロールします。暗いシーンでは黒をより黒くし、明るいシーンでは白をより白くするよう調整します。

Adaptive Sync

Adaptive Sync テクノロジーは、ほぼすべてのフレームレートにおいて、滑らかで不自然さのない性能を実現し、途切れ途切れのゲームプレイや破損フレームを解消します。

Audio Adjust (音声調整)

音量調整やミュート設定を行うことができます。また、入力元が 2 つ以上ある場合は、入力を切り替えることができます。

Auto Detect (自動検出)

現在の入力元からの信号がない場合、ディスプレイが自動で他の入力オプションに切り替わるように設定します。一部のモデルでは、この機能はデフォルトで無効になっています。

B **Black Stabilization**

ViewSonic の Black Stabilization は、高い視認性と暗い場面を明るくすることにより精細な描写をご提供します。

Blue Light Filter (ブルーライト低減)

刺激の強いブルーライトをフィルタリングし、ユーザーが更に快適に使用できるようにします。

Boot Up Screen (起動画面)

起動画面をオフにすると、モニターの電源を入れたときに画面に表示されるメッセージが表示されなくなります。

Brightness (輝度)

バックライトの輝度を調整します。

C

Color Adjust (カラー調整)

ユーザーのニーズに合わせて色設定を調節できるように、複数の色調整モードが提供されています。

Color Range (色範囲)

ディスプレイは、自動で色域の入力信号を検知することができます。表示されている色が間違っている場合は、色域オプションを変更して正しい色に合わせることができます。

オプション	詳細
Auto (自動)	ディスプレイが自動的にカラーフォーマットと白黒レベルを検出します。
Full Range (全範囲)	白黒レベルを最大値に設定します。
Limited Range (限定範囲)	白黒レベルは制限されています。

Color Space (色空間)

色空間を RGB または YUV から選択し、ディスプレイからの色出力を変更することができます。

Color Temperature (色温度)

特定の色温度を選択し、更にカスタマイズした視聴設定をすることができます。

パネルのデフォルト	初期値
sRGB	Windows システムに使用される標準の色空間
Bluish (青色の濃さ)	色温度を 9,300K に設定します。
Cool (寒色)	色温度を 7,500K に設定します。
Native (標準)	デフォルトの色温度です。一般的な使用に推奨されます。
Warm (暖色)	色温度を 5,000K に設定します。

Contrast (コントラスト)

画面の明暗を調整することができます。

G

Gamma (ガンマ調整)

モニターのグレイスケールレベルの輝度レベルを手動で調整できます。6つのレベルを選択できます: 1.8、2.0、2.2、2.4、2.6 および 2.8。

H

Hue (色相)

それぞれの色の色調を調節します (赤、緑、青、藍色、深紅色、黄色)。

I

Information (インフォメーション)

コンピュータのグラフィックカードから送られる入力信号、LCD モデル番号、シリアル番号、ViewSonic® ウェブサイト URL を表示します。グラフィックカードの解像度とリフレッシュレートを変更したい場合は、グラフィックカードのユーザーガイドを参照してください。

注意事項 例えば、VESA 1024 x 768 @ 60Hz は、解像度が 1024 x 768 で、リフレッシュレートが 60Hz であることを意味します。

Input Select (入力選択)

ご使用のディスプレイで利用可能な各種入力オプションを切り替えます。

M Manual Image Adjust (マニュアル画像調整)

マニュアル画像調整メニューを表示すると、様々な画面調整を行うことができます。

Memory Recall (メモリーリセット)

ディスプレイが本マニュアルの「仕様」に記載されている工場出荷時のプリセットタイミングモードで動作している場合、工場出荷時の設定に調整を戻します。

注意事項

- (例外)この操作が「言語選択」または「電源ロック設定」で実行された変更に影響を与えることはありません。
- Memory Recall は、ディスプレイの工場出荷時デフォルト構成・設定です。Memory Recall により、本製品は ENERGY STAR® 適格となります。この工場出荷時デフォルト構成・設定を変更すると、エネルギー消費量が増加し、適用される ENERGY STAR® 資格に必要なとされる制限を超えて、エネルギー消費量が増加する可能性があります。ENERGY STAR® は、米国環境保護庁 (EPA) により発行された一連の省エネ指針です。また、ENERGY STAR® は、エネルギー効率の良い製品や実践を通して、お金を節約し、環境を保護できるよう、私たちをサポートする、米国環境保護庁と米国エネルギー省のジョイントプログラムです。



O Offset (オフセット)

赤、緑、青の黒レベルを調整します。ゲインとオフセット機能により、コントラストや暗いシーンを操作する際に、ユーザーが最前面のコントロールのホワイトバランスを制御できます。

OSD Pivot (OSD 回転)

ディスプレイの OSD メニューの表示方向を設定します。

Overscan (オーバースキャン)

このオプションを有効にすると、アスペクト比を変更せずに画面サイズに合わせて画面を引き延ばします。

- P Power Indicator (電源インジケーター)**
モニターの電源がオンかオフかを示すライトです。また、この設定はスタンドの照明を制御します。「Power Indicator (電源インジケーター)」の下で、照明効果をオフに切り替えることができます。さらに、電源インジケーターは、画面が受信した入力色信号を直接解釈した平均色を表示します。
- Q Quick Access (クイックアクセス)**
クイックアクセスキーとメニューを使用して、いくつかの機能とモードをすばやく開始します。ユーザーは、OSD の **Setup Menu (設定メニュー)** を介して、クイックアクセスメニューで希望する機能またはモードを定義することもできます。機能 / モードは、ライトバーがアイテム上を移動するとすぐに有効になり、ライトバーを削除すると無効になります。
- R Recall (リセット)**
ディスプレイの View Mode 設定をリセットします。
- Resolution Notice (解像度のお知らせ)**
視聴解像度が正しくない場合にユーザーにお知らせします。解像度設定時に、設定内に通知が表示されます。
- S Setup Menu (設定メニュー)**
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの設定を調整します。ほとんどの設定を、オンスクリーンディスプレイ通知で有効にすることができますので、ユーザーが再度メニューを開く必要がありません。
- Sharpness (シャープネス)**
ディスプレイの写真の鮮明度と品質を調整します。
- V ViewMode (View モード)**
ViewSonic 独自の ViewMode 機能には、あらかじめ「Game (ゲーム)」、「Movie (映画)」、「Web (ウェブ)」、「Text (テキスト)」、「MAC」、「Mono (モノクロ)」がプリセットされています。これらのプリセットは、様々な画面の用途に合わせて最適な状態で視聴いただけるように、特別に設計されています。
- ViewScale**
モニター上の画像の表示サイズを調整して、「最適な」シナリオを実現することができます。

トラブルシューティング

本章では、ディスプレイをご使用するにあたり、発生する可能性がある問題と対処方法を記載します。

問題	解決策
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">• 電源ボタンを押して、モニターをオンにしているかご確認ください。• 電源コードがモニターと電源コンセントにしっかりと接続されているかご確認ください。• 別の電気装置をコンセントに差し込み、コンセントが電力を供給していることを確認してください。
電源が入っているが、画面何も表示されない	<ul style="list-style-type: none">• モニターをコンピュータに接続しているビデオケーブルが、正しい状態でしっかりと接続されているかご確認ください。• 明るさとコントラストの設定を調整してください。• 正しい入力源が選択されているかご確認ください。
色が違う、又はおかしい	<ul style="list-style-type: none">• いずれかの色(赤、緑、青)が欠けている場合は、ビデオケーブルがしっかりと接続されているかご確認ください。コネクタが緩んでいたり、破損している場合は接続不良の可能性あります。• ディスプレイを他のコンピュータに接続してご確認ください。
画像が明るすぎる、又は暗すぎる	<ul style="list-style-type: none">• OSDメニューから輝度とコントラスト設定を調節してください。• モニターを工場出荷時の設定にリセットします。
画面がちらつく、点滅する	<ul style="list-style-type: none">• 正しい入力源が選択されているかご確認ください。• ビデオケーブルのコネクタに、曲がったピンや壊れたピンがないかご確認ください。• モニターをコンピュータに接続しているビデオケーブルが、正しい状態でしっかりと接続されているかご確認ください。
画像がぼやけている	<ul style="list-style-type: none">• 解像度を正しいアスペクト比に調整してください。• モニターを工場出荷時の設定にリセットします。
画面が正しく中央に配置されていない	<ul style="list-style-type: none">• OSDメニューから水平および垂直コントロールを調整してください。• アスペクト比をご確認ください。• モニターを工場出荷時の設定にリセットします。
画面が黄色い	<ul style="list-style-type: none">• 「ブルーライト低減」がオフになっている事をご確認ください。

問題	解決策
OSDメニューが画面に表示されない/ OSDコントロールにアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> • OSDメニューがロックされていないかご確認ください。 • ディスプレイの電源を切り、電源コードを抜いて挿し直してください。その後、ディスプレイの電源を再度入れてください。 • モニターを工場出荷時の設定にリセットします。
コントロールパネルキーが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • 一度に押すキーは一つだけにしてください。 • コンピュータを再起動してください。
OSDメニューに選択できない項目がある	<ul style="list-style-type: none"> • ViewModeまたは入力ソースを調整します。 • モニターを工場出荷時の設定にリセットします。
音が出ない、又は音量が小さい	<ul style="list-style-type: none"> • イヤホン/ヘッドホンを使用する場合は、ミニステレオジャックが接続されていることをご確認ください。 • 音量がミュートされていたり、0に設定されていないかご確認ください。 • オーディオ入力設定が正しく設定されているかご確認ください。
ディスプレイが調整できない	<ul style="list-style-type: none"> • ディスプレイの周囲に障害物がないことを確認の上、十分なスペースを確保してください。 • 詳細については、<?>ページの「ディスプレイの使用」を参照してください。
USBデバイスをディスプレイに接続しても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • USBケーブルがディスプレイとUSBデバイスにしっかりと接続されているかご確認ください。 • 別のUSBポートに変えてみてください(該当する場合)。 • USBデバイスの中には使用電力が高いものがございます。その場合はUSBデバイスをコンピュータへ接続して動作をご確認ください。
外付けデバイスを接続しても、画面に画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • ディスプレイの電源が入っていることをご確認ください。 • OSDメニューから輝度とコントラストを調節してください。 • 接続ケーブルを確認し、適切かつしっかりと接続されていることを確認してください。コネクタが緩んでいたたり、破損している場合は接続不良の可能性があります。

メンテナンス

お手入れの際の注意

- ディスプレイのお手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
- 絶対に画面やケースに直接液体をスプレーしたり、かけたりしないでください。
- ディスプレイは十分注意してお取扱ってください。傷がついた場合、跡が残る可能性があります。

画面のお手入れ

- 清潔で柔らかい不織布で拭いてください。ホコリやゴミを取り除くことができます。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量画面につけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

ケースのお手入れ

- ホコリやゴミのついている場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量ケースにつけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

免責事項

- ViewSonic® は、ディスプレイ画面またはケースにアンモニアまたはアルコールベースのクリーナーを使用することはお勧めしません。いくつかの化学洗浄剤は、ディスプレイの画面および / またはケースを損傷することが報告されています。
- ViewSonic® は、アンモニアやアルコールベースの洗剤の使用に起因する損傷の一切の責任を負いません。

規制およびサービス情報

コンプライアンス情報

本セクションでは、関連するすべての要件と規制に関する声明を扱います。確認された対応用途は、本体上の銘板ラベルおよび関連マーキングを参照してください。

FCCコンプライアンス声明

本装置は、FCC規則パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします：(1) 本装置は有害な干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。本装置は、FCC規則パート15に従って試験され、クラスBデジタル装置の制限に準拠していることが判明しています。

これらの制限は、住宅における設置で有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用しており、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合（装置の電源を入れ直して判断できます）、次のいずれかの方法で干渉を是正するようにしてください。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変えてください。
- 本装置と受信機の間隔を広げてください。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに本装置を接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

警告：コンプライアンス担当者が明示的に承認していない変更または修正を行うと、本装置の操作権限が失われる可能性があることに注意してください。

カナダ産業省の声明

CAN ICES-003(B) / NMB-003(B)

欧州諸国のCE適合



本装置は、EMC指令2014/30/EUおよび低電圧指令2014/35/EUに準拠しています。

次の情報は、EU加盟国のみにも適用されます：

右側のマークは、廃電気電子機器指令2012/19/EU (WEEE) に準拠しています。このマークは、本装置を未分類の地方自治体の廃棄物として処分せず、現地の法律に従って回収および回収システムを使用する必要があることを示しています。



RoHS2コンプライアンス宣言

本製品は、欧州議会および理事会指令2011/65/EU (電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する指令 (RoHS2指令)) に準拠して設計・製造されており、欧州技術適合委員会 (TAC) が発行する以下の最大濃度値に適合しているとみなされます：

物質	提案された最大濃度	実際の濃度
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
六価クロム (Cr6+)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ビス (2 - エチルヘキシル) (DEHP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ブチルベンジル (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

上記のような製品の特定のコンポーネントは、下記のRoHS2指令の附属書IIIの下で免除されています：

- 鉛を重量 4 % まで含有する銅合金。
- 高融点温度はんだ中の鉛 (すなわち、鉛を重量 85 % 以上含む鉛ベースの合金)。
- コンデンサに誘電体セラミック以外のガラスまたはセラミックの鉛を含む電気および電子部品 (例えば、圧電素子、またはガラスまたはセラミックマトリックス化合物中)。
- 定格電圧が 125 VAC または 250 VDC 以上のコンデンサの誘電体セラミック中の鉛。

インドの有害物質規制

有害物質規制に関する声明(インド)。本製品は、「インドE廃棄ルール2011」に準拠しており、鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭素化ビフェニルまたはポリ臭素化ジフェニルエーテルに対する濃度が0.1重量%、カドミウムに対する濃度が0.01重量%を超えることが禁止されています。ただし、規則の附属書2に定められた免除を除きます。

製品ライフサイクル終了時の製品の廃棄

ViewSonic®は環境を尊重し、環境に配慮した緑化に取り組んでいます。よりスマートな、よりグリーンなコンピューティングに参加していただきありがとうございます。詳細については、

ViewSonic®のWebサイトをご覧ください。

米国およびカナダ:

<https://www.viewsonic.com/us/go-green-with-viewsonic>

欧州:

<https://www.viewsonic.com/eu/go-green-with-viewsonic>

台湾:

<https://recycle.moenv.gov.tw/>

ユーザーの方は、本製品で安全性 / 事故問題に関する問題が発生した場合は、弊社にお問い合わせください：

ViewSonic Europe Limited



Haaksbergweg 75
1101 BR Amsterdam
Netherlands



+31 (0) 650608655



EPREL@viewsoniceurope.com



<https://www.viewsonic.com/eu/>

著作権情報

Copyright© ViewSonic Corporation, 2024. All rights reserved. 版權所有。

Macintosh 及び Power Macintosh はアップル社Apple Inc.の登録商標です。

Microsoft、Windows 及び Windows ロゴは米国及び他諸国のマイクロソフト社の登録商標です。

ViewSonic®、3羽の鳥のロゴはViewSonic® Corporationの登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。DPMS、DisplayPort 及び DDC は VESA の商標です。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI Trade Dress、HDMIロゴという用語は、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

免責条項: ViewSonic® Corporationは、本書における技術的または編集上の誤りについてその責を負いません。また、本資料の提供または本製品の動作或いは使用に起因する二次的または間接的損害についてもその責を負いません。

製品の継続的な品質向上のために、ViewSonic® Corporationは製品の仕様を予告なしに変更することができます。本文書の内容は予告なしに変更されることがあります。

本書のいかなる部分も、ViewSonic® Corporationから事前に書面による許可を得ることなく、いかなる方法によっても無断で複写、複製、転送することを禁じます。

カスタマーサポート

技術サポート、または製品サービスについては下記ウェブサイトをご覧ください。

注意事項 製品のシリアル番号が必要です、モニターの背面、I/Oポートの近くにあります。

国/地域	ウェブサイト	国/地域	ウェブサイト
アジア太平洋およびアフリカ			
Australia	www.viewsonic.com/au/	Bangladesh	www.viewsonic.com/bd/
中国 (China)	www.viewsonic.com.cn	香港 (繁體中文)	www.viewsonic.com/hk/
Hong Kong (English)	www.viewsonic.com/hk-en/	India	www.viewsonic.com/in/
Indonesia	www.viewsonic.com/id/	Israel	www.viewsonic.com/il/
日本 (Japan)	www.viewsonic.com/jp/	Korea	www.viewsonic.com/kr/
Malaysia	www.viewsonic.com/my/	Middle East	www.viewsonic.com/me/
Myanmar	www.viewsonic.com/mm/	Nepal	www.viewsonic.com/np/
New Zealand	www.viewsonic.com/nz/	Pakistan	www.viewsonic.com/pk/
Philippines	www.viewsonic.com/ph/	Singapore	www.viewsonic.com/sg/
臺灣 (Taiwan)	www.viewsonic.com/tw/	ประเทศไทย	www.viewsonic.com/th/
Việt Nam	www.viewsonic.com/vn/	South Africa & Mauritius	www.viewsonic.com/za/
アメリカ			
United States	www.viewsonic.com/us	Canada	www.viewsonic.com/us
Latin America	www.viewsonic.com/la		
欧州			
Europe	www.viewsonic.com/eu/	France	www.viewsonic.com/fr/
Deutschland	www.viewsonic.com/de/	Қазақстан	www.viewsonic.com/kz/
Россия	www.viewsonic.com/ru/	España	www.viewsonic.com/es/
Türkiye	www.viewsonic.com/tr/	Україна	www.viewsonic.com/ua/
United Kingdom	www.viewsonic.com/uk/		

限定保証

ViewSonic®ディスプレイ

保証内容:

ViewSonic®は、保証期間中、製品に材料や製造上の欠陥がないことを保証します。保証期間中に製品の材料または製造上の欠陥が判明した場合、ViewSonic®は、唯一の救済策として、修理または類似の製品に交換します。交換用の製品または部品には、再生または改装された部品またはコンポーネントが含まれる場合があります。修理または交換用の部品またはコンポーネントは、お客様の元の限定保証に残っている期間について保証され、保証期間は延長されません。ViewSonic®は、製品に付属しているか、お客様がインストールしたサードパーティソフトウェア、認可されていないハードウェア部品またはコンポーネント（プロジェクタランプなど）をインストールした場合でも、いかなるサードパーティソフトウェアも保証しません。（「保証対象外」のセクションを参照してください）。

保証期間:

ViewSonic®ディスプレイは、購入国に応じて、最初のお客様の購入日からの光源を含むすべての部品およびすべて労働費について、1年から3年の間保証されます。

保証対象者:

この保証は、最初の消費者購入者にのみ有効です。

保証対象外:

- シリアル番号が破損、変更、または削除された製品。
- 以下に起因する損傷、劣化、または誤動作：
 - » 事故、誤用、怠慢、火災、洪水、雷、または自然災害、不正な製品の変更、または製品に付属の説明書の不順守。
 - » ViewSonic®の認可を受けていない者による修理または修理の試み。
 - » プログラム、データ、またはリムーバブル記憶媒体の損傷または紛失。
 - » 通常の損耗。
 - » 製品の取り外しまたは取り付け。
- 修理または交換中に発生するソフトウェアまたはデータの損失。
- 出荷による製品の損傷。
- 電力の変動や停電など、製品外部の原因。

- ViewSonicの仕様を満たしていない消耗品または部品の使用。
- ユーザーガイドに記載されているように、所有者が定期的な製品保守を実行しないこと。
- 製品の欠陥に関係しないその他の原因。
- 静止している(移動しない)画像が長時間表示されることによる損傷(画像の焼き付きとも呼ばれます)。
- ソフトウェア - 製品に含まれている、または顧客によってインストールされているサードパーティソフトウェア。
- ハードウェア/付属品/部品/コンポーネント - 許可されていないハードウェア、付属品、消耗部品またはコンポーネント(プロジェクタランプなど)の設置。
- 製品のユーザーガイドに記載されている不適切な清掃によるディスプレイ表面のコーティングの損傷または濫用による損傷。
- 製品の壁面取り付けを含む取り外し、設置、およびセットアップサービス料金。

サービスを受ける方法:

- 保証サービスを受ける方法については、ViewSonic®カスタマサポートにお問い合わせください(「カスタマーサービス」のページを参照してください)。製品のシリアル番号を提供してください。
- 保証サービスを受けるために、以下を提供してください: (a) 元の日付付き売上伝票、(b) 名前、(c) 住所、(d) 問題の説明、(e) 製品のシリアル番号。
- 元のコンテナに保管された製品を認可されたViewSonic®サービスセンターまたはViewSonic®に持ち込むか、料金前払いで出荷してください。
- 最寄りのViewSonic®サービスセンターの追加情報または名称については、ViewSonic®にお問い合わせください。

黙示の保証の制限:

商品性および特定の目的への適合性を含め、ここに記載されている内容を超える明示または黙示の保証はありません。

損害の除外:

ViewSonicの責任は、製品の修理または交換の費用に限られます。ViewSonic®は、以下の責任を負わないものとします:

- 不具合に起因する損害、製品の使用の喪失、時間の損失、利益の損失、事業機会の喪失、のれんの喪失、取引関係への干渉、または、その他の商業的損失（たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも）。
- 偶発的、派生的、またはそれ以外のその他の損害。
- 他の当事者による顧客に対するクレーム。
- ViewSonic®の認可を受けていない者による修理または修理の試み。

州法の効果:

本保証は、お客様に特定の法的権利を付与するものであり、また州ごとに異なるその他の権利を有する場合があります。一部の州では、黙示の保証の制限を認めない、または、付随的または間接的な損害の除外を認めないため、上記の制限および除外が適用されない場合があります。

米国およびカナダ外の販売:

米国およびカナダ以外で販売されるViewSonic®製品の保証情報とサービスについては、ViewSonic®またはお近くのViewSonic®販売店にお問い合わせください。中国本土（香港、マカオ、台湾除く）における本製品の保証期間は、保守保証保証書の条件に従います。

欧州およびロシアのユーザーの場合、提供される保証の詳細は、次のURLを参照してください: <http://www.viewsonic.com/eu/>の「サポート/保証情報」。



ViewSonic®